

【面接官の印象】

1. 外国人面接官(以下 NS)について
とてもフレンドリーで、一貫して笑顔で接していただきました。
2. 通訳ガイド(以下 TG)について
威圧的で、笑顔はなく外国人面接官とは対照的でした。

【面接試験の実際】

1. 通訳試験について

	<p>正確ではないのですが、以下の通りです。</p> <p>1964年の東京オリンピックの際、開設された新幹線は当時世界で最も速い電車で、現在、日本の8主要都市をむすぶ計画が進行されています。</p>
--	--

2. 2分間プレゼンテーションについて

TG	<p>選んだものを英語で言ってから、プレゼンテーションを始めることと、これから話す事をメモをとっても良いと日本語で指示がありました。</p>
カードの内容	<p>居酒屋 伝統芸能 震災後の復興について</p>
I	<p>私は迷わず、伝統芸能をえらびました。言った内容は申し訳ありませんが日本で書かせていただきます。</p> <p>まず、伝統芸能には三つのメジャーなジャンルがあり、歌舞伎、能、文楽があります。 歌舞伎から説明させていただきます。歌舞伎は、16世紀初頭に出雲大社の巫女、出雲阿国がはじめた danced drama で大がかりな舞台装置があります。 一つには、回り舞台という回転するステージで、もう一つは花道という細い、catwalk で観客席から back theater に続く extension があります。ゴージャスな衣装と特殊なメーキャップが特徴です。2005年に世界無形文化遺産に登録されました。</p> <p>(この途中で1分の知らせが入り、パニック！！急いで能、文楽へ)</p>

	<p>能は古代に発した masked dance drama で14世紀に花開いた。衣装がゴージャスです。現在、五つの流派、観世、宝生、金剛、金春、喜多があり、それぞれの能楽堂で上演されてます。文楽は17世紀に花開きました。(puppet theater が言えなかったことが痛恨)</p> <p>ここでタイムアップ。</p>
--	---

3. 質疑応答について

NS	能と歌舞伎の違いは？
I	能は主役だけが面をかぶり、役者はセリフを話さない。歌舞伎は役者はセリフを話し、大きな身振りの劇です。
NS	能と狂言の違いは？
I	元は二つとも同じ art form 猿楽から出たもので、能はシリアスでミステリアスな題材で狂言はコメディで役者はセリフを話します。
NS	自分は外国人ですが、歌舞伎は楽しめますか？
I	日本人でもセリフを正確に理解するのは難しいです。ゴージャスな衣装は楽しめます。それに劇場には通訳用の機械もあります。
NS	それを借りれば楽しめますね。(フォローの助け舟でした。)
I	はい、そうです。
NS	能と歌舞伎の違いは？
I	能は日本人にとっても内容を理解するのは難しいですし、歌舞伎は動きが active で華やかで、内容も分かりやすいです。
NS	今の若い人たちにも人気はありますか？
I	一部の人たちには、あります。特に若い女性たちには若い歌舞伎役者は大変人気があります。
NS	そう！若い女性たちには特にね！（フォローの笑い）

【試験を終えて】

通訳試験は1964年の東京オリンピック開催の際の[際]を最初に when で始めなければならないのに、1964年に開催されたオリンピックでと始めてしまって、これからどうしようとパニックでその後はどう切り抜けたかは良く覚えていない状態です。お恥ずかしい限りです。

プレゼンは NS が、とてもフォローしようと助け舟の質問をしてくださったりして頂いたのですが、如何せん、私の英語力が追いつかず・・・またまたお恥ずかしい限りです。